# Multilingual Electronic Newsletter 今言語メールマガニン かごしま南の風便り \*\* Kagoshima Southern Wind Tidings

VOL.192

▽トピックス

- 1 国際交流員のコラム (鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン)
  - ●薩摩切子

### 2 知事の動き

- ●ウクライナの子ども達の絵画展の紹介に訪問されました(9月2日)
- ●台湾屏東県知事が訪問されました(9月5日)
- ●スロバキア共和国の皆さまが訪問されました。(9月10日)

### 3 かごしまの国際交流

- ●チェジュ航空が5年半ぶりに運航を再開しました。(9月 14 日)
- ●「手話言語の国際デー」及び「国際ろう者週間」に合わせた手話の普及啓発活動を 実施しました。(9月23日~29日)

### 4 観光かごしまのイベント情報

- ●川内大綱引き(9月22日)
- ●第 38 回 桜島·錦江湾横断遠泳大会(9 月 23 日)

\_\_\_\_\_

# 国際交流員のコラム

-----

### ●薩摩切子●

一鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン (シンガポール出身) 一

鹿児島の伝統美術工芸品である薩摩切子をご存じですか?

# 薩摩切子とは

江戸末期に薩摩藩(現在の鹿児島)で造られた切子ガラスです。

クリスタルガラスを使用し、無色のガラスの表面に色ガラス を溶着させて、精密なカットを施し、丁寧に磨きあげた製品は 美しく輝きます。



薩摩切子アクセサリー

「薩摩切子」は鮮やかな色彩を持つ豪華さが特徴となっています。

色のグラデーションには「ぼかし」という技法が使われ、重なった色ガラスの厚みによって作られて、それも薩摩切子の特徴になります。

### 薩摩切子の誕生

薩摩藩におけるガラスの製造は1846年に始まりました。そして28代島津斉彬が藩主になると、飛躍的な発展を遂げることとなり、「薩摩切子」が誕生しました。

しかし、当主の死去により生産が中止され、日本全体 も混乱の時代になりました。それから 100 年経ち、多 くの職人や専門家の努力により薩摩切子は復活しまし た。



薩摩切子の小付鉢(写真:弟子丸工房より)



薩摩切子の製作過程



ハイボール彩雲 (写真は弟子丸工房より)

### 現在の薩摩切子

現在、薩摩切子は鹿児島の伝統工芸品として栄えています。

酒器以外にも、ステンドグラスや繊細なアクセサリーなど現代風にアレンジした作品も数多くあります。

そのアレンジの一例として、薩摩切子弟子 丸工房では薩摩切子の製造過程で出るガラス の端材で自分のアクセサリーを作る体験など さまざまな体験をすることができます。



薩摩切子カット体験コーナー



弟子丸工房外の壁デザイン



弟子丸工房の内部



ステンドグラス薩摩切り子

# 薩摩切子カット体験

私はその体験に参加し、切子師の丁寧な指導のもと、自分だけのオリジナルの切子 アクセサリーを作りました。

ネックレスのペンダントやイヤリングなど、いろいろな種類から自由に選ぶことができます。



体験サンプル(写真:弟子丸工房より)

まず、様々な色と形のガラス生地から自分好みの素材を選びます。選択肢は無限大です!

いくつかのサンプルもあり、最終的な作品がどのようになるかをイメージできます。

また、練習用と最終作品用の2つを作り、1 つだけを最終作品として仕上げられます。そして,練習用の仕上げていない状態の物は持ち帰ることができます。



ガラス生地とサンプル

次に、切子師が機械の操作方法と切り方を説明して実演します。専用のカット工具 (ダイヤモンドが埋め込まれた研磨ホイールの一種というダイヤモンドホイール)を 使用し、削りたい部分を押し当て前後に動かしながらカットを行います。



切子師の手本



グラスをカット

カットの深さや角度によって、ガラスの色が変わり、グラデーションを作り出すことができます。見た目は少し怖いかもしれませんが、カット用の刃は肌を傷つけないので安全で簡単に使うことができます!

デザインが完成し、全てのカットが終了したら切子師に渡します。工房で磨き加工を施し、一ヶ月後綺麗に仕上がった完成品が自宅に届けられます。



完成!試作と本番の2コ

この体験では色や形、デザインの選択はすべて自分で決めることができるので、作品は自分だけのオリジナルなガラスアートとなります!

鹿児島の伝統工芸を体験してみませんか?



仕上がった完成品のペンダント

薩摩切子 弟子丸 (ART DESHIMARU)

カット体験・ショップ TEL: 0995-73-4747

住所: 鹿児島県霧島市隼人町小浜 1817-1

https://deshimaru.jp/

# 知事の動き

●ウクライナの子ども達の絵画展の紹介に訪問されました(9月2日)● ポーランドのクラクフにあるサンスター日本語学校の兵頭博校長と、県内に住むウクライナからの避難者の支援に取り組まれている(一社)鹿児島県フードバンクセンターの村上理事長が県庁を訪問されました。

兵頭校長は、サンスター日本語学校に在籍する学生と共にウクライナからポーランドのクラクフへ避難した子ども達への精神的支援を継続されており、その支援の一つとして、9月12日まで鹿児島県立図書館で開催されている「小さき画家達の展覧会」の案内がありました。

ウクライナから避難した子ども達が故郷を思いながら描いた絵画を鹿児島県民の皆さまに観ていただくことで、ウクライナの惨状を忘れないでもらいたいとのお話がありました。





●表敬の様子

●兵頭博校長と村上理事長と

●台湾屏東県が訪問されました。(9月5日)●

台湾屏東県の周春米知事をはじめとする訪問団が来県しました。

屏東県訪問団は農畜水産業や商工業の関係者など約45名で構成され、各分野毎に具体的な交流に繋がるよう県内の農畜水産業や商工業に関する県内 事業者を視察し、意見交換等を行いました。

また9月5日には、訪問団の代表者が鹿児島県庁を表敬訪問され、両県の 今後の友好交流について懇談しました。

私からは、「今回の訪問で両県の生産者や事業者間の交流が深まった。今後も、双方の『稼ぐ力』の向上に繋がる意見交換を行うことによって、鹿児島県と屏東県との連携・協力関係の更なる強化が図られることを期待している」とお伝えしました。

周知事からは,「今回の訪問で鹿児島県と屏東県の産業界の代表者同士の深い交流の機会を持つことができた。自治体間の交流だけでなく,民間交流もより緊密で熱烈なものにしていきたい」との話がありました。

また表敬後の夕食懇談会では、奄美の島唄の演奏や鹿児島の食材を使った 料理など「南の宝箱 鹿児島」を堪能していただきました。







●屏東県一行の皆様と

●スロバキア共和国の皆さまが訪問されました。(9月10日)● 中央ヨーロッパに位置するスロバキア共和国のイヴァン スコルシュ駐日 スロバキア共和国特命全権大使と関係の方々が訪問されました。

私からは焼酎やワインといった双方の特産品やお互いに世界遺産にもなっている豊かな自然・歴史的な風景を相互に紹介し、今後地域間の交流が盛んになることを期待しているとお伝えしました。

大使からは、スロバキアの歴史的な城・洞窟をはじめとする魅力的な自然 や建造物の数々、非常に上質なスロバキアワインを在霧島スロバキア共和国 名誉領事である山元正博氏の力も借り、本県及び日本の皆さまに知っていた だきたいと思っているとのお話がありました。

今回の訪問が本県とスロバキア共和国との交流のより一層の発展につながれば幸いです。



●イヴァン・スコルシュ大使と

# かごしまの国際交流

●チェジュ航空が5年半ぶりに運航を再開しました。(9月14日)● 新型コロナウイルス感染症拡大などを理由に鹿児島への運航を休止していた韓国の格安航空(LCC)チェジュ航空が、約5年半ぶりに定期便の運行を再開しました。

2018年1月に訪日客需要の高まりを受け週3往復で初就航しましたが、コロナ禍などにより運休が続いていました。

今後は、コロナ禍以前と同様火・木・土曜日の週3往復で運行の予定です。

●「手話言語の国際デー」及び「国際ろう者週間」に合わせた手話の普及啓発活動を実施しました。(9月23日~29日)

令和2年3月に施行された「かごしま県民手話言語条例」を踏まえ、手話の普及やろう者に対する理解促進を図るため、9月23日の「手話言語の国際デー」及び9月23日から29日の「国際ろう者週間」に合わせて手話の普及啓発活動を実施しました。



●イベントの様子 【引用】鹿児島県 HP より

http://www.pref.kagoshima.jp/ae32/event/syuwafukyuukeihatukatudou.html

# 観光かごしまの旬の情報

●川内大綱引き(9月22日)●

薩摩川内市の伝統行事である川内大綱引きが開催されました。

使用される綱は、長さ365m、重さ約7トンと日本一の大綱を使用しており、420年以上続く伝統行事でもあります。

2024年3月には、国の重要無形民俗文化財にも指定されました。

当日は、約3,000人の上半身裸にサラシを巻いた「ハダカ」と呼ばれる男たちが、互いに大綱を引き合います。

また、中央付近では、敵陣の引き隊を邪魔するため、そして、自陣の引き隊を守るため、両陣営の「押し隊」同士が、体と体を激しくぶつけ合い、攻防する勇壮な姿を見ることができます。



●当日の会場の様子「© K. P. V. B」

●第38回 桜島・錦江湾横断遠泳大会(9月23日)●

桜島・錦江湾横断遠泳大会は昭和62年(1987年)から実施され、今年で38回目を迎えました。

桜島の小池海岸から鹿児島市の磯海水浴場までの 4.2 k mを泳ぐ者となっており、雄大な活火山桜島のそびえる緩やかで美しい錦江湾を、ゴール目指して泳ぎます。

編集後記(鹿児島県観光・文化スポーツ部国際交流課)

日本では、秋と言えば「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」などと様々な形で表現されますが、皆様はどんな秋をお過ごしでしょうか?

私は虫の声を聞きながら本を読んで秋の夜長を満喫しています ついつい先が読みたくて夜更かししてしまいます(^\_^; みなさん, おすすめの本があったら, 是非教えてください! それでは、次回の配信もお楽しみに★

### ☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。写真の簡単な説明を添えてお送りください(例:克灰袋の山)。

# ☆鹿児島暮らしの知恵

鹿児島の生活に関する情報をご共有ください(例:つけあげのおいしい食べ方、火山灰の対処法)。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

### ▲▽▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▲▽▲▽

日本国 鹿児島県 観光・文化スポーツ部 国際交流課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号:+81-99-286-2306 FAX 番号:+81-99-286-5522

### ↓電子メールアドレス

英語:<a href="mailto:cir1@pref.kagoshima.lg.jp">cir1@pref.kagoshima.lg.jp</a>
中国語:<a href="mailto:cir2@pref.kagoshima.lg.jp">cir3@pref.kagoshima.lg.jp</a>
日本語:<a href="mailto:minami@pref.kagoshima.lg.jp">minami@pref.kagoshima.lg.jp</a>

本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信、転載及び掲示板等への掲載は禁止します。